

**IBM SPSS Modeler Premium
18.0 インストールおよび構成ガ
イド**

IBM

目次

第 1 章 IBM SPSS Modeler Premium

コンポーネントの概要	1
----------------------	---

第 2 章 IBM SPSS Modeler Premium

Client のインストール 3

システム要件	3
------------------	---

インストール	4
------------------	---

ダウンロードされたファイルからのインストール	4
----------------------------------	---

ネットワークの場所からのインストール	4
------------------------------	---

サイレント インストール	4
------------------------	---

SPSS Modeler Premium のインストール後	6
---	---

以前のリリースからの SPSS Entity Analytics リポ	
-------------------------------------	--

ジトリのアップグレード	7
-----------------------	---

SPSS Entity Analytics リポジトリの削除	10
--	----

SPSS Entity Analytics リポジトリのバックアッ	
-----------------------------------	--

プと復元	10
----------------	----

IBM SPSS Modeler Premium の削除	10
--	----

第 3 章 IBM SPSS Modeler Premium

Server のインストール 13

システム要件	13
------------------	----

インストール	13
------------------	----

Windows システムへのインストール	13
--------------------------------	----

UNIX システムへのインストール	13
-----------------------------	----

サイレント インストール	14
------------------------	----

SPSS Modeler Premium Server のインストール後	16
--	----

以前のリリースからの SPSS Entity Analytics リポ	
-------------------------------------	--

ジトリのアップグレード	18
-----------------------	----

SPSS Entity Analytics リポジトリの削除	21
--	----

SPSS Entity Analytics リポジトリのバックアッ	
-----------------------------------	--

プと復元	22
----------------	----

SPSS Modeler Social Network Analysis クラス	
--	--

タ ノード	22
-----------------	----

管理ツール	23
-----------------	----

IBM SPSS Modeler Premium Server の削除	24
---	----

Windows システムからの削除	24
-----------------------------	----

UNIX システムからの削除	24
--------------------------	----

索引	25
--------------	----

第 1 章 IBM SPSS Modeler Premium コンポーネントの概要

IBM® SPSS® Modeler Premium は 3 つのメイン コンポーネントから構成されます。

- IBM SPSS Modeler Entity Analytics
- IBM SPSS Modeler Social Network Analysis
- IBM SPSS Modeler Text Analytics

IBM SPSS Modeler Entity Analytics

SPSS Entity Analytics により、IBM SPSS Modeler の予測分析に新たな次元が追加されます。予測分析は過去のデータから将来の行動を予測しようとするのに対し、エンティティ分析ではレコードの中でアイデンティティの競合を解決することで現在のデータの干渉性と一貫性を改善することに焦点を当てます。アイデンティティは、個人、組織、オブジェクトまたは曖昧さの存在する他のエンティティとなります。アイデンティティの解決は、顧客関係の管理、不正行為の検出、マネーロンダリング防止、国内および国際的なセキュリティなどのさまざまなフィールドにおいて重要になります。

SPSS Entity Analytics はクライアント側のバージョンおよびサーバー側のバージョンで使用できます。クライアント側のバージョンでのインストールは、SPSS Entity Analytics を実行するクライアント・システムでは不可欠です。

また、Windows または UNIX ホストシステムで SPSS Modeler Server を使用している場合のみサーバー側バージョンをインストールします。

IBM SPSS Modeler Social Network Analysis

IBM SPSS Modeler Social Network Analysis は、関係に関する情報を、個人およびグループの社会的行動を特徴づけるフィールドに変換します。ソーシャル・ネットワークの基底となる関係を説明するデータを使用して、SPSS Modeler Social Network Analysis はネットワークの他の人の行動に影響を与えるソーシャル・リーダーを識別します。また、他のネットワーク参加者に最も影響を受ける人を確認できます。これらの結果を他の指標と組み合わせることによって、予測モデルの基準となる個人の包括的なプロフィールを作成できます。この社会的情報を含むモデルは、含まないモデルに比べてパフォーマンスが高くなります。

ソーシャル・ネットワーク分析の詳細については、「IBM SPSS Modeler Social Network Analysis ユーザー・ガイド」を参照してください。

IBM SPSS Modeler Text Analytics

SPSS Modeler Text Analytics は強力なテキスト分析機能を提供するものであり、高度な言語テクノロジーと自然言語処理 (Natural Language Processing, NLP) を使用して、さまざまな無構造テキスト・データを高速で処理し、重要な概念を抽出および整理します。さらに、SPSS Modeler Text Analytics はこれらのコンセプトをカテゴリーにグループ化できます。

組織内の約 80% のデータは、レポート、Web ページ、電子メール、コール・センターのメモなどのテキスト・ドキュメント形式です。テキストは、組織が顧客の動向をより良く把握するための重要な要素です。NLP を組み込むシステムは、複合句などのコンセプトを効率的に抽出できます。さらに、規定となる言語の情報を使用して、キーワードを製品、組織、人物など、意味や状況に応じて関連グループに分類できます。その結果、情報のニーズに対する関連性を迅速に確認できます。これらの抽出されたコンセプトとカテ

ゴリーは、人口統計など既存の構造化されたデータと組み合わせることができ、さらに SPSS Modeler とその豊富なデータマイニングツールを使ったモデル作成に適用することにより、焦点を絞ったより良い決定を下すことができます。

言語学的なシステムは、知識に影響されます。つまり、辞書に含まれている情報が多いほど、より高い品質の結果が得られます。SPSS Modeler Text Analytics には、キーワードや類義語の辞書、ライブラリー、およびテンプレートなど、一連の言語リソースが付属しています。またこの製品を使用すると、状況に合わせてこれらの言語リソースを開発および調整できます。言語リソースの調整はインタラクティブなプロセスで、正確なコンセプトの取得とカテゴリー化に必要です。CRM およびゲノムなど、特定のドメインのカスタムテンプレート、ライブラリー、辞書も含まれています。

第 2 章 IBM SPSS Modeler Premium Client のインストール

システム要件

一般的な要件

IBM SPSS Modeler Premium は、SPSS Modeler Client がすでにインストールされているシステムにインストールする必要があります。

システム要件を確認するには、<http://www.ibm.com/software/analytics/spss/products/modeler/requirements.html> を参照してください。

SPSS Entity Analytics 要件

SPSS Entity Analytics は、突き合わせ対象のエンティティを格納するための DB2 リポジトリを必要とします。リポジトリをホストする DB2 インストール済み環境がまだ用意されていない場合、リポジトリとして使用するローカル マシンにインストールするための DB2 インストーラが提供されています。DB2 10.5 をインストールする場合には、DB2 データベース・サーバーおよび IBM Data Server Client のインストール要件 (Windows) を参照してください。

注:

- 分散モードで SPSS Entity Analytics Server とともに使用する場合は、パッケージ化された DB2 インスタンスをインストールする必要はありません。
- ローカル モードで実行するときに、SPSS Entity Analytics リポジトリを保管するために、SPSS Modeler クライアント マシンに DB2 10.5 をすでにインストールしてある場合は、パッケージ化された DB2 をインストールしないでください。

SPSS Modeler Social Network Analysis 要件

SPSS Modeler Social Network Analysis を、ソーシャル・ネットワーク分析ノードを含むストリームを使用するすべてのクライアントにインストールします。

注: 異なるバージョンの SPSS Modeler とともに、複数の SPSS Modeler Social Network Analysis をインストールすることはできません。例えば、SPSS Modeler のバージョン 17 とバージョン 18 の両方をインストールしている場合は、バージョン 17 の SPSS Modeler Social Network Analysis をアンインストールし、バージョン 18 の方を再インストールして、最新バージョンの SPSS Modeler で SPSS Modeler Social Network Analysis を使用する必要があります。

実行する入力データのサイズを推定する際に、IBM SPSS Modeler Social Network Analysis を使用すると、プロセスを正常に実行するために必要な RAM のおおよその空き容量を計算することができます。

- 拡散分析の場合、以下の計算になります。

$$\text{Mem_size (KB) on Server} = 0.1 * \text{Record_Num}$$

ここで、*Mem_size (KB)* は、サーバーに必要な空きメモリーのおおよその量です。*Record_Num* は、ソース データの行数です。

- グループ分析の場合、以下の計算になります。

$$\text{Mem_size (KB)} = 10 * \text{Cust_Num}$$

ここで、*Cust_Num*) は、データ内の顧客の数です。

SPSS Modeler Text Analytics 要件

以前のバージョンからのアップグレード。 SPSS Modeler Text Analytics バージョン 18 をインストールする前に、TAP、テンプレート、およびライブラリーの保存と現在のバージョンから新しいバージョンへのエクスポートを行ってください。これらのファイルの保存先は、最新バージョンのインストール時に、削除または上書きされることのないディレクトリーにすることをお勧めします。

最新バージョンの SPSS Modeler Text Analytics をインストールしたら、保存した TAP ファイルのロード、保存した任意のライブラリーの追加、または保存した任意のテンプレートを最新バージョンで使用するためのインポートおよびロードを行うことができます。

インストール

重要: インストールするには、コンピューターに管理者権限でログオンする必要があります。

ダウンロードされたファイルからのインストール

Windows XP の場合

1. ダウンロードしたファイルをダブルクリックし、ファイルをコンピューター内の場所に解凍します。
2. Using Windows Explorer を使用して、ファイルを解凍した場所を参照し、*setup.exe* をダブルクリックします。
3. 画面に表示される指示に従います。

Windows Vista およびそれ以降の場合

注: 以下のように、管理者としてインストーラーを実行する必要があります。

1. ダウンロードしたファイルをダブルクリックし、ファイルをコンピューター内の場所に解凍します。
2. Windows Explorer を使用してファイルを解凍した場所を参照します。
3. *setup.exe* を右クリックし、「管理者として実行」を選択します。
4. 画面に表示される指示に従います。

ネットワークの場所からのインストール

1. Windows Explorer を使用して、管理者から指定された *setup.exe* ファイルの場所を参照します。
2. *setup.exe* を右クリックし、「管理者として実行」を選択します。
3. 自動再生メニューから、「IBM SPSS Modeler Premium のインストール」をクリックします。
4. 画面に表示される指示に従います。

サイレント インストール

サイレント モードを使用すると、相互作用なしに単独でインストールを実行できます。サイレントにインストールすることで、システム管理者は、各インストールのモニター、およびプロンプトとダイアログ ボックスへの入力作業をしなくてすむようになります。この方法は、同一のハードウェアを使用する、異なる多くのコンピューター上に SPSS Modeler Premium をインストールする場合に特に役立ちます。

注: サイレント インストールを実行可能にするには、管理者権限が必要です。

Windows - サイレント インストール

Windows システムでサイレント インストールを実行するには、Microsoft Installer (MSI) を使用します。msiexec.exe を使用して MSI パッケージをインストールします。

以下のオプションを使用できます。

表 1. サイレント インストールのオプション

オプション	説明
/i	プログラムが製品をインストールすることを指定します。
/l*v	冗長なロギングを指定します。例えば、インストールのトラブルシューティングを行う必要がある場合、この形式のログが役に立つことがあります。
/qn	外部ユーザー インターフェイス シーケンスを実行しないでインストールを実行します。
/s	サイレント モードを指定します。
/v	セットアップ プログラムが MSI 実行可能ファイル (msiexec.exe) に対して行う呼び出しに、パラメーター スtring を渡すことを指定します。このオプションを使用する場合、以下のシンタックス要件が適用されます。 <ul style="list-style-type: none">円記号 (¥) を、既存の引用符 (" ") の内部に置かれるすべての引用符の前に配置する必要があります。/v オプションとその引数の間にスペースを含めないようにしてください。/v オプションを使用して入力された複数のパラメーターは、スペースで区切る必要があります。ログ ファイルを作成するには、コマンドの最後にディレクトリーとファイル名を指定します。このディレクトリーは、サイレント インストールを開始するときには存在している必要があります。
/x	プログラムが製品をアンインストールすることを指定します。

以下のテキストは、MSI コマンドの例を示します。

```
c:¥>msiexec.exe /i ModelerPremium32.msi /qn /l*v  
c:¥temp¥Modeler_Silent_Install.log  
AgreeToLicense=true
```

注: ご使用のシステムによっては、前述の例の .msi ファイルを変更することが必要な場合があります。SPSS Modeler Premium クライアント用の .msi のバージョンを以下のリストに示します。

- ModelerPremium32.msi - 32 ビット
- ModelerPremium64.msi - 64 ビット
- ModelerPremiumJP.msi - 32 ビット、日本語
- ModelerPremiumJP64.msi - 64 ビット、日本語

Windows - サイレント アンインストール

以下のテキストは、ソフトウェアをサイレントにアンインストールする MSI コマンドの例を示します。

```
C:¥>msiexec.exe /x ModelerPremium64.msi /qn /norestart
```

SPSS Modeler Premium のインストール後 SPSS Entity Analytics リポジトリの作成

SPSS Entity Analytics リポジトリを DB2 インスタンス内に作成するために、以下のステップに従ってください。

注: ユーザーアクセス制御が有効になっている Windows システムでは、「管理者として実行」を選択して、SPSS Modeler を開始する必要があります。

1. ICC_PKCS11_ROOT という環境変数を追加します。このフォルダーに対する完全な権限が付与されたユーザーとして Windows にログインしたことを確認してください。
2. ユーザーは、C:\ProgramData\IBM\SPSS\Modeler\18\EA\g2_config.xml ファイルに対する完全な権限が付与されたユーザーとして Windows にログインし、クライアントの DB2ADMNS グループのメンバーであることを確認してください。
3. SPSS Modeler を開始します。
4. EA エクスポート ノードを開いて、「エンティティ リポジトリ」ドロップダウン リストから「<参照...>」を選択します。
5. 「エンティティ リポジトリ」ダイアログ ボックスで、「リポジトリ名」ドロップダウン リストから「<新しいリポジトリの作成/追加>」を選択します。
6. 「リポジトリの作成/追加」ウィザードのステップ 1 で、SPSS Entity Analytics リポジトリにアクセスする際に、すべての SPSS Entity Analytics ユーザーが使用する必要のある、「ユーザー名」および「パスワード」を指定します。この「ユーザー名」は、オペレーティング・システム上の既存のユーザーであり、かつ DB2ADMNS グループのメンバーでなければなりません。そうでない場合、リポジトリの作成に失敗し、エラー メッセージが表示されます。このユーザーは、DB2 インスタンスの所有者である必要はありません。

注: 「ユーザー名」または「パスワード」に感嘆符 (!) が含まれるログインを指定しないでください。この場合、リポジトリの作成に失敗します。

7. 「リポジトリの作成/追加」ウィザードのステップ 2 で、「新しいリポジトリ名」を指定し、「OK」を押してください。「config.xml ファイルの操作エラー」というエラーが表示された場合は、上記のステップ 1 を確認し、再試行してください。

SPSS Modeler Text Analytics データ ディレクトリ場所

デフォルトでは、SPSS Modeler Text Analytics の通常の動作における必要に応じたファイルの更新および書き込みの際に、SPSS Modeler Text Analytics はデフォルトのインストール場所を使用します。

SPSS Modeler Text Analytics クライアントでは、データはデフォルトでインストールされたデータベース (C:\ProgramData\IBM\SPSS\TextAnalytics\18\tmwb_18.db) に書き込まれます。別のデータ ディレクトリを使用するには、次のディレクトリにある ta_client_conf.properties ファイル内の指示を使用して、新しいディレクトリを指定します。C:\Program

Files\IBM\SPSS\Modeler\18\ext\lib\spss.TMWBClient\conf\

SPSS Modeler Text Analytics (Windows Vista の場合)

SPSS Modeler Text Analytics を Windows Vista にインストールする場合は、インストール後に追加ステップを行う必要があります。

変更権限を C:\ProgramData\IBM\SPSS\TextAnalytics\18\tmwb_18.db ファイルに追加してください。これにより、テンプレートの読み込みやテキストマイニングモデルビルダーの実行時に発生するさまざまなエラーが回避されます。

以前のリリースからの SPSS Entity Analytics リポジトリのアップグレード

SPSS Modeler Premium のインストール後、SPSS Entity Analytics を初めて使用する前に、以下にリストするアクションを実行して、アップグレードを完了する必要があります。

注: 現在の SPSS Modeler バージョンで使用できるように DB2 データベースをアップグレードすると、その後は以前のバージョンでは使用できなくなります。

- アップグレード対象の SPSS Entity Analytics リポジトリを含む DB2 データベースをバックアップし、リポジトリをアップグレードします。詳しくは、『DB2 データベースのバックアップおよびリポジトリのアップグレード』を参照してください。
- アップグレード対象のリポジトリの g2_config.xml インスタンスを、以前の SPSS Modeler リリース・バージョンのファイルから現在の SPSS Modeler リリース・バージョンに移動します。例えば、SPSS Modeler 17.1 から SPSS Modeler 18.0 に移動します。詳しくは、8 ページの『アップグレード対象のリポジトリ用の g2_config.xml インスタンスの移動』を参照してください。
- アップグレード対象の各リポジトリのフォルダーを、以前の SPSS Modeler リリースの場所から現在の SPSS Modeler リリースの場所に移動します。詳しくは、8 ページの『現行 SPSS Modeler バージョンへのリポジトリ用フォルダーの移動』を参照してください。
- トークンおよびセキュア・ストアを初期化し、salt 値を以前の SPSS Modeler リリースの g2.ini ファイルから抽出します。詳しくは、9 ページの『トークンおよびセキュア・ストアの初期化とソルト値の抽出』を参照してください。
- g2.ini ファイルを変更します。詳しくは、10 ページの『g2.ini ファイルの変更』を参照してください。

DB2 データベースのバックアップおよびリポジトリのアップグレード

SPSS Entity Analytics リポジトリを含む DB2 データベースをバックアップし、このリポジトリをアップグレードするには、以下のステップを実行します。

1. 管理者としてログインし、IBM DB2 コマンド・ウィンドウを開きます。
2. 既存のデータベースをバックアップします。これを行うには、以下のコマンドを入力します。その際、{DB} にはデータベース名、{USER} にはユーザー名、{PASSWORD} にはパスワードを代入してください。また、{C:\} はバックアップを配置する場所のパスで置き換えてください。
 - a. db2 CONNECT TO {DB} USER {USER} USING {PASSWORD}
 - b. db2 QUIESCE DATABASE IMMEDIATE FORCE CONNECTIONS
 - c. db2 CONNECT RESET
 - d. db2 BACKUP DATABASE {DB} USER {USER} USING {PASSWORD} TO {C:\} WITH 2 BUFFERS BUFFER 1024 PARALLELISM 1 COMPRESS WITHOUT PROMPTING
 - e. db2 CONNECT TO {DB} USER {USER} USING {PASSWORD}
 - f. db2 UNQUIESCE DATABASE
 - g. db2 CONNECT RESET
3. 以下の手順で SPSS Entity Analytics リポジトリを更新します。
 - a. db2 connect to {DB} user {USER} using {PASSWORD}
 - b. cd C:/Program Files/ibm/SPSS/Modeler/<current_version_number>/ext/bin/pasw.entityanalytics/templates

- c. 以前のバージョンの SPSS Modeler から現在のバージョンに更新するためのコマンドを入力します。例: db2 -tvf Upgrade17to18.sql
4. コマンド・ウィンドウを終了します。それには、exit と入力します。

アップグレード対象のリポジトリ用の g2_config.xml インスタンスの移動

g2_config.xml ファイルは、SPSS Entity Analytics コンポーネントが指定のリポジトリの SPSS Entity Analytics Web サービスを見つけるために使用します。g2_config.xml インスタンスを移動するには、以下のステップを実行します。

1. 以前の SPSS Modeler バージョンの g2_config.xml ファイルを編集します。例えば、SPSS Modeler バージョン 17.1 の場合、このファイルのデフォルトの場所は以下のとおりです。

- **Windows** C:\ProgramData\IBM\SPSS\Modeler\17.1\EA\g2_config.xml
- **UNIX** <modeler17.1-install-directory>/ext/bin/pasw.entityanalytics/EA/g2_config.xml

2. アップグレード対象のリポジトリのインスタンスを見つけて削除します。例えば、AAA というリポジトリを SPSS Modeler バージョン 17.1 からアップグレードした場合は、以下を削除します。

```
<instance external="false" g2host="localhost" g2port="1321" host="9.30.214.79"
  name="AAA"
  path="C:\ProgramData\IBM\SPSS\Modeler\17.1\EA\repositories\AAA\g2.ini"
  port="1320"/>
```

3. 現在の SPSS Modeler バージョンの g2_config.xml ファイルを編集します。例えば、SPSS Modeler バージョン 18.0 の場合、このファイルのデフォルトの場所は以下のとおりです。

- **Windows** C:\ProgramData\IBM\SPSS\Modeler\18.0\EA\g2_config.xml
- **UNIX** <modeler17.1-install-directory>/ext/bin/pasw.entityanalytics/EA/g2_config.xml

4. ステップ 2 で削除したインスタンスを追加し、以前の SPSS Modeler バージョン番号から現在のバージョン番号に変更することでパスを更新します。

例えば、SPSS Modeler 17.1 から 18.0 にアップグレードする場合は以下のようにします。

```
<g2instances>
.
.
<instance external="false" g2host="localhost"
  g2port="1321" host="9.30.214.79" name="AAA"
  path="C:\ProgramData\IBM\SPSS\Modeler\18.0\EA\repositories\AAA\g2.ini"
  port="1320"/></g2instances></config>
```

現行 SPSS Modeler バージョンへのリポジトリ用フォルダーの移動

リポジトリのフォルダーを、以前の SPSS Modeler バージョンの場所から現在の SPSS Modeler バージョンの場所に移動する必要があります。例えば、AAA というリポジトリをアップグレードする場合は、AAA という名前のフォルダーとその内容をすべて移動する必要があります。

例えば、SPSS Modeler バージョン 17.1 からバージョン 18.0 にリポジトリを移動する場合、リポジトリのデフォルトの場所は以下のとおりです。

- **Windows** 移動元: C:\ProgramData\IBM\SPSS\Modeler\17.1\EA\repositories、移動先: C:\ProgramData\IBM\SPSS\Modeler\18.0\EA\repositories
- **UNIX** 移動元: <modeler17.1-install-directory>/ext/bin/pasw.entityanalytics/EA/repositories、移動先: <modeler18.0-install-directory>/ext/bin/pasw.entityanalytics/EA/repositories

トークンおよびセキュア・ストアの初期化とソルト値の抽出

トークンおよびセキュア・ストアを初期化し、ソルト値を、現在の SPSS Modeler バージョンで使用するために以前の SPSS Modeler バージョンの場所の g2.ini ファイルから抽出する必要があります。

例えば、SPSS Modeler バージョン 17.1 からバージョン 18.0 にリポジトリを移動する場合は、以下のようになります。

Windows

ICC_PKCS11_ROOT 環境変数を変更して、ICC_PKCS11_ROOT=<セキュア・ストア・ファイルが格納されているフォルダーのパス> とし、以下のコマンドを実行します。

```
set path=<modeler18.0-install-directory>%bin%;<modeler18.0-install-directory>%ext%bin%pasw.entityanalytics#g2;
<modeler18.0-install-directory>

cd <modeler18.0-install-directory>%ext%bin%pasw.entityanalytics#g2

ssadm -c <modeler18.0-install-directory>%ext%bin%pasw.entityanalytics%templates#g2.ini
-tokinit -label g2securestore <modeler18.0-install-directory>%ext%bin%pasw.entityanalytics%templates
%Valid-SOPIN.txt

ssadm -c <modeler18.0-install-directory>%ext%bin%pasw.entityanalytics%templates#g2.ini
-ssinit <modeler18.0-install-directory>%ext%bin%pasw.entityanalytics%templates%SOPIN.txt

saltadm -c <modeler18.0-install-directory>%ext%bin%pasw.entityanalytics%templates#g2.ini
-legacy -ini the g2.ini file of 17.1 -name yoursaltName
<modeler18.0-install-directory>%ext%bin%pasw.entityanalytics%templates%SOPIN.txt
```

これらのコマンドにより、ソルト NAME および CHECKSUM が以下の形式で得られます。

```
[SALT]
NAME=g2salt_1327
CHECKSUM=EmPtyghpZdbSdjAq+Ss0dA==
ANONYMIZATION=SHA2
```

NAME および CHECKSUM は、トピック 10 ページの『g2.ini ファイルの変更』のステップを実行する際に必要になります。

UNIX

次のコマンドを実行します。

```
export ICC_PKCS11_ROOT=<the folder where you store the file of the secure store>
```

- **Linux** および **Linux for System z** の場合:

```
export LD_LIBRARY_PATH=<modeler18.0-install-directory>/bin:<modeler18.0-install-directory>:
<modeler18.0-install-directory>/ext/bin/pasw.entityanalytics/g2
```

- **AIX** の場合:

```
export LIBPATH=<modeler18.0-install-directory>/bin:<modeler18.0-install-directory>:
<modeler18.0-install-directory>/ext/bin/pasw.entityanalytics/g2
```

```
cd <modeler18.0-install-directory>/ext/bin/pasw.entityanalytics/g2
```

```
./ssadm -c <modeler18.0-install-directory>/ext/bin/pasw.entityanalytics/templates/g2.ini
-tokinit -label g2securestore <modeler18.0-install-directory>/ext/bin/pasw.entityanalytics/templates/
Valid-SOPIN.txt
```

```
./ssadm -c <modeler18.0-install-directory>/ext/bin/pasw.entityanalytics/templates/g2.ini
-ssinit <modeler18.0-install-directory>/ext/bin/pasw.entityanalytics/templates/SOPIN.txt
```

```
./saltadm -c <modeler18.0-install-directory>/ext/bin/pasw.entityanalytics/templates/g2.ini
-legacy -ini your g2.ini file of 17.1 -name yoursaltName
<modeler18.0-install-directory>/ext/bin/pasw.entityanalytics/templates/SOPIN.txt
```

これらのコマンドにより、ソルト NAME および CHECKSUM が以下の形式で得られます。

```
[SALT]
NAME=g2salt_1327
CHECKSUM=EmPtyghpZdbSdjAq+Ss0dA==
ANONYMIZATION=SHA2
```

NAME および CHECKSUM は、トピック 『g2.ini ファイルの変更』のステップを実行する際に必要になります。

g2.ini ファイルの変更

最新の SPSS Modeler バージョンから g2.ini ファイルをコピーして、以前のファイルを置き換える必要があります。それを行うには、以下のステップを実行します。

1. 最新の SPSS Modeler バージョンの g2.ini をリポジトリ・フォルダーにコピーして、古い g2.ini ファイルを置き換えます。

g2.ini の場所の例: `<modeler18.0-install-directory> /ext/bin/pasw.entityanalytics/EA/templates`

例えば、AAA というリポジトリをアップグレードする場合、SPSS Modeler 18.0 用に編集するリポジトリ・フォルダー・ファイルのデフォルトの場所は、以下のようになります。

- **Windows:** `C:\ProgramData\IBM\SPSS\Modeler\18.0\EA\repositories\AAA\g2.ini`
- **UNIX:** `<modeler18.0-install-directory>/ext/bin/pasw.entityanalytics/EA/repositories/AAA/g2.ini`

2. [PIPELINE] セクションの SUPPORTPATH 項目で、パスを以前のバージョンから最新バージョンに変更します (例えば 17.1 から 18.0 に)。
3. [SALT] セクションで、NAME および CHECKSUM の各ソルト項目を、トピック 9 ページの『トークンおよびセキュア・ストアの初期化とソルト値の抽出』でステップを実行した際に作成したもので置き換えます。

SPSS Entity Analytics リポジトリの削除

オプションの DB2 10.5 を SPSS Entity Analytics リポジトリとしてインストールした後で、それをアンインストールする場合には、DB2 データベース製品のアンインストールの説明に従ってください。

SPSS Entity Analytics リポジトリのバックアップと復元

SPSS Entity Analytics リポジトリとしてオプションで DB2 10.5 をインストールした後に、リポジトリのバックアップを作成する場合は、DB2 - バックアップの概要の説明に従ってください。復元する必要があるリポジトリのバックアップ コピーがある場合は、DB2 - リストアの概要の説明に従ってください。

IBM SPSS Modeler Premium の削除

IBM SPSS Modeler Premium をアンインストールするには、次の手順に従います。

1. Windows の「スタート」メニューから次のように選択します。

「設定」 > 「コントロール パネル」

2. 「コントロール パネル」から「プログラムの追加と削除」を選択します。
3. 「プログラムの変更または削除」をクリックします。

4. 現在インストールされているプログラムのリストから IBM SPSS Modeler Premium を選択し、「**変更/削除**」をクリックします。コンピューターに複数のバージョンがインストールされている場合は、削除するバージョンを間違えないように選択します。

アンインストールが完了すると、メッセージが表示されます。

第 3 章 IBM SPSS Modeler Premium Server のインストール

システム要件

IBM SPSS Modeler Premium Server は、SPSS Modeler Server がすでにインストールされているシステムにインストールする必要があります。IBM SPSS Modeler Premium Server の要件は、SPSS Modeler Server と同じですが、次のような例外があります。

インストール

重要: インストールするには、コンピューターに管理者権限でログオンする必要があります。

Windows システムへのインストール

IBM SPSS Modeler Premium Server は、SPSS Modeler Server のインストール場所にインストールする必要があります。SPSS Modeler Server がインストールされていない場合、IBM SPSS Modeler Premium Server のインストールは失敗します。

IBM SPSS Modeler Premium Server をインストールするには、次の手順を実行します。

1. 管理者権限を使用して、サーバー・コンピューターにログオンします。
2. ダウンロードした eAssembly に対して以下を実行します。
 - ファイルをダブルクリックしてインストール・ファイルを回答します。
 - インストール・ファイルを解凍した場所に移動し、*Server64.exe* をダブルクリックします。
3. 画面に表示される指示に従います。
4. インストールが完了したら SPSS Modeler Server ホストを再起動します。

UNIX システムへのインストール

IBM SPSS Modeler Premium Server は、SPSS Modeler Server のインストール場所にインストールする必要があります。SPSS Modeler Server がインストールされていない場合、IBM SPSS Modeler Premium Server のインストールは失敗します。

システムのカーネルの制限が、IBM SPSS Modeler Premium Server の運用に十分であることを必ず確認してください。少なくとも 4 GB 使用可能であることが推奨されます。既存のサイズを設定し、必要に応じて増やすには、コマンド `ulimit -a` を使用します。

IBM SPSS Modeler Premium Server をインストールするには、次の手順を実行します。

1. SPSS Modeler がターゲット・マシンで実行していないことを確認します。
2. **root** としてログインします。
3. ダウンロードした eAssembly に対して以下を実行します。
 - ファイルをダブルクリックしてインストール・ファイルを適切な場所に解凍します。
 - インストール・ファイルが解凍された場所に移動します。
4. `.bin` ファイル (例: `premium_server_aix64.bin` または `premium_server_zlinux64.bin`) を実行します。インストール・スクリプトが `root` によって実行できることを確認します。

- 表示された手順に従います。インストール・ディレクトリーを要求するメッセージが表示されたら、SPSS Modeler Server のインストール・ディレクトリーを使用します。別のディレクトリーを指定すると、エラー・メッセージが表示されます。
- インストールが完了したら SPSS Modeler Server ホストを再起動します。

サイレント インストール

サイレント モードを使用すると、相互作用なしに単独でインストールを実行できます。サイレントにインストールすることで、システム管理者は、各インストールのモニター、およびプロンプトとダイアログ ボックスへの入力作業をしなくてすむようになります。この方法は、同一のハードウェアを使用する、異なる多くのコンピューター上に SPSS Modeler Premium をインストールする場合に特に役立ちます。

注: サイレント インストールを実行可能にするには、管理者権限が必要です。

Windows - サイレント インストール

Windows システムでサイレント インストールを実行するには、Microsoft Installer (MSI) を使用します。msiexec.exe を使用して MSI パッケージをインストールします。

以下のオプションを使用できます。

表2. サイレント インストールのオプション

オプション	説明
/i	プログラムが製品をインストールすることを指定します。
/l*v	冗長なロギングを指定します。例えば、インストールのトラブルシューティングを行う必要がある場合、この形式のログが役に立つことがあります。
/qn	外部ユーザー インターフェース シーケンスを実行しないでインストールを実行します。
/s	サイレント モードを指定します。
/v	セットアップ プログラムが MSI 実行可能ファイル (msiexec.exe) に対して行う呼び出しに、パラメーター スtringを渡すことを指定します。このオプションを使用する場合、以下のシンタックス要件が適用されます。 <ul style="list-style-type: none"> 円記号 (¥) を、既存の引用符 (" ") の内部に置かれるすべての引用符の前に配置する必要があります。 /v オプションとその引数の間にスペースを含めないようにしてください。 /v オプションを使用して入力された複数のパラメーターは、スペースで区切る必要があります。 ログ ファイルを作成するには、コマンドの最後にディレクトリーとファイル名を指定します。このディレクトリーは、サイレント インストールを開始するときには存在している必要があります。
/x	プログラムが製品をアンインストールすることを指定します。

以下のテキストは、MSI コマンドの例を示します。

```
c:>msiexec.exe /i ModelerPremiumServer64.msi /qn /L*v
c:¥temp¥Modeler_Silent_Install.log
AgreeToLicense=true
```

注: ご使用のシステムによっては、前述の例の .msi ファイルを変更することが必要な場合があります。SPSS Modeler Premium サーバー用の .msi のバージョンを以下のリストに示します。

- ModelerPremiumServer64.msi - 64 ビット

- ModelerPremiumServerJP.msi - 64 ビット、日本語

Windows - サイレント アンインストール

以下のテキストは、ソフトウェアをサイレントにアンインストールする MSI コマンドの例を示します。

```
C:>msiexec.exe /x ModelerPremium64.msi /qn /norestart
```

Linux / UNIX - サイレント インストール

Linux システムまたは UNIX システムでサイレント インストールを実行するには、以下を実行します。

1. インストーラー ファイルをコピーしたのと同じ場所に、`installer.properties` ファイルを作成します。
2. テキスト エディターで、`installer.properties` の値を設定します。以下のテキストは、`installer.properties` ファイルの例を示します。

```
=====
# Thu Jan 29 11:35:37 GMT 2015
# Replay feature output
# -----
# This file was built by the Replay feature of InstallAnywhere.
# It contains variables that were set by Panels, Consoles or Custom Code.

#Indicate whether the license agreement been accepted
#-----
LICENSE_ACCEPTED=TRUE

#Choose Install Folder
#-----
USER_INSTALL_DIR=/usr/IBM/SPSS/ModelerServer/17.0

#Install
=====
```

3. `USER_INSTALL_DIR` の値がインストール ディレクトリーの場所と一致することを確認します。ディレクトリー パスには、スペースを含めることはできません。
4. ファイルを保存します。
5. 以下のコマンドを実行して、インストーラーを実行します。

```
./<installer_name> -i silent -f installer.properties
```

ここで、`<installer_name>` は、インストーラー `.bin` ファイルです。

Linux / UNIX - サイレント アンインストール

ソフトウェアをサイレントにアンインストールするには、以下の 2 つの方法のいずれかでアンインストーラーを実行します。

- 次のコマンドを実行します。

```
./<installer_path>/Uninstall_IBM_SPSS_MODELER_PREMIUM_SERVER/Uninstall_IBM_SPSS_MODELER_PREMIUM_SERVER -i silent
```

ここで、`<installer_path>` は、IBM SPSS Modeler Server インストール ディレクトリーのパス名です。

- または、`installer.properties` ファイルがある場合、以下のテキストは、ソフトウェアをサイレントにアンインストールするコマンドの例を示します。

```
./premium_server_linux64.bin -i silent -f ./installer.properties
```

SPSS Modeler Premium Server のインストール後 SPSS Entity Analytics リポジトリの作成

SPSS Entity Analytics リポジトリを DB2 インスタンス内に作成するために、以下のステップに従ってください。

Windows

1. ICC_PKCS11_ROOT という環境変数を追加します。このフォルダーに対する完全な権限が付与されたユーザーとして Windows にログインしたことを確認してください。
2. SPSS Modeler を開始して、SPSS Modeler Server に接続します。

SPSS Modeler Server にログインしているユーザーが、
C:\ProgramData\IBM\SPSS\Modeler\18\EA\g2_config.xml ファイルに対する完全な権限を持っており、
サーバーの DB2ADMNS グループのメンバーであることを確認してください。

3. EA エクスポート ノードを開いて、「エンティティ リポジトリ」ドロップダウン リストから「<参照...>」を選択します。
4. 「エンティティ リポジトリ」ダイアログ ボックスで、「リポジトリ名」ドロップダウン リストから「<新しいリポジトリの作成/追加>」を選択します。
5. 「リポジトリの作成/追加」ウィザードのステップ 1 で、SPSS Entity Analytics リポジトリにアクセスする際に、すべての SPSS Entity Analytics ユーザーが使用する必要のある、「ユーザー名」および「パスワード」を指定します。この「ユーザー名」は、オペレーティング・システム上の既存のユーザーであり、かつ DB2ADMNS グループのメンバーでなければなりません。そうでない場合、リポジトリの作成に失敗し、エラー メッセージが表示されます。このユーザーは、DB2 インスタンスの所有者である必要はありません。

注: 「ユーザー名」または「パスワード」に感嘆符 (!) が含まれるログインを指定しないでください。この場合、リポジトリの作成に失敗します。

6. 「リポジトリの作成/追加」ウィザードのステップ 2 で、「新しいリポジトリ名」を指定し、「OK」を押してください。「config.xml ファイルの操作エラー」というエラーが表示された場合は、上記のステップ 1 を確認し、再試行してください。

注: リポジトリの作成後は、接続された SPSS Modeler Server ユーザーが DB2USERS または DB2ADMNS のどちらかのグループに属する限り、ユーザーはリポジトリに対するレコードの読み取りおよび書き込みが可能です。

注: DB2 が SPSS Modeler と同じマシン上にない場合は、リモート DB2 インスタンスを SPSS Modeler Server マシン上にカタログし、ローカルにカタログされたインスタンス名を参照して、DB2NODENAME システム環境変数を SPSS Modeler Server マシン上に作成する必要があります。

UNIX

1. SPSS Modeler Server のインストール ディレクトリにある modelersrv.sh 始動スクリプトを、以下の例のように編集します。

注: この例では、/opt/ibm/V10.5 は DB2 のインストール・ディレクトリであり、/home/g2user は、SPSS Entity Analytics リポジトリを作成している DB2 インスタンスの所有者のホーム・ディレクトリです。

```
DB2_INSTALL_PATH=/opt/ibm/V10.5/  
export DB2_INSTALL_PATH  
DB2_INSTANCE_HOME=/home/g2user  
export DB2_INSTANCE_HOME  
ICC_PKCS11_ROOT=<your secure store path>  
export ICC_PKCS11_ROOT
```

2. SPSS Modeler を開始して、SPSS Modeler Server に接続します。

注: これを行うには、サーバー マシンの db2iadml グループのメンバーである必要があります、
<modeler-installation-directory>%ext%bin%pasw.entityanalytics%data ディレクトリーおよび
<modeler-installationdirectory>%ext%bin%pasw.entityanalytics%EA ディレクトリーおよびその子に
対する完全な権限を持っている必要があります。

3. EA エクスポート ノードを開いて、「エンティティー リポジトリー」ドロップダウン リストから「<参照...>」を選択します。
4. 「エンティティー リポジトリー」ダイアログ ボックスで、「リポジトリー名」ドロップダウン リストから「<新しいリポジトリーの作成/追加>」を選択します。
5. 「リポジトリーの作成/追加」ウィザードのステップ 1 で、SPSS Entity Analytics リポジトリーにアクセスする際に、すべての SPSS Entity Analytics ユーザーが使用する必要のある、「ユーザー名」および「パスワード」を指定します。この「ユーザー名」は、db2iadml グループのメンバーである、SPSS Modeler Server ホストのオペレーティング システム上の既存のユーザーでなければなりません。そうでない場合、リポジトリーの作成に失敗し、エラー メッセージが表示されます。このユーザーは、DB2 インスタンスの所有者である必要はありません。

注: 「ユーザー名」または「パスワード」に感嘆符 (!) が含まれるログインを指定しないでください。この場合、リポジトリーの作成に失敗します。

6. 「リポジトリーの作成/追加」ウィザードのステップ 2 で、「新しいリポジトリー名」を指定し、「OK」を押してください。「config xml ファイルの操作エラー」というエラーが表示された場合は、上記のステップ 1 を確認し、再試行してください。

注: リポジトリーに対して読み取りと書き込みを行うには、SPSS Modeler Server にログインしたユーザーが <ModelerServer>/ext/bin/pasw.entityanalytics/EA/log ディレクトリーおよび <ModelerServer>/ext/bin/pasw.entityanalytics/EA/tmp ディレクトリーに対する書き込み権限を持っている必要があります。

注: DB2 インスタンスが別のマシンで稼動している場合、ローカル マシンにインスタンスをカタログし、modelersrv.sh で変数 DB2NODENAME をインスタンス名に設定する必要があります。例えば、インスタンスを EAREPOSITORY にカタログする場合、以下のようにします。

```
DB2NODENAME=EAREPOSITORY  
export DB2NODENAME
```

SPSS Modeler Text Analytics データ ディレクトリーの場所

デフォルトでは、SPSS Modeler Text Analytics の通常の動作における必要に応じたファイルの更新および書き込みの際に、SPSS Modeler Text Analytics はデフォルトのインストール場所を使用します。

SPSS Modeler Text Analytics Server では、一時ファイルの他に、Web サービス ログ ファイルとセッション ディレクトリーの両方に出力が書き込まれます。このサーバーの場合、デフォルトのサーバー インストール ディレクトリーは、C:%Program Files%IBM%SPSS%Modeler%18%ext%bin%spss.TMWServer% です。

ログ ファイルの場所は、デフォルトでは、C:\ProgramData\IBM\SPSS\TextAnalytics\18\log\wrapper.log です。別のファイルやディレクトリーを使用するには、構成ファイル <server_install_directory>\bin\wrapper.conf で指定した「wrapper.logfile=value」の値を更新してください。

セッション ディレクトリーは、デフォルトでは、C:\ProgramData\IBM\SPSS\TextAnalytics\18\Session です。別のファイルやディレクトリーを使用するには、構成ファイル <server_install_directory>\conf\ta_server.conf、でこのファイルに記載されている指示も使用して新規の場所を指定してください。

一時ファイルは、通常の使用時に、サーバーで自動的に作成（および削除）されます。一時ファイルは、デフォルトで、C:\ProgramData\IBM\SPSS\TextAnalytics\18\temp に書き込まれます。一時ファイルに別のディレクトリーを使用するには、構成ファイル <server_install_directory>\conf\axis2.xml で指定された attachmentDIR パラメーター値を更新します。

注: 新規ディレクトリーを指定する場合は、そのディレクトリーが存在することを確認してください。

以前のリリースからの SPSS Entity Analytics リポジトリーのアップグレード

SPSS Modeler Premium のインストール後、SPSS Entity Analytics を初めて使用する前に、以下にリストするアクションを実行して、アップグレードを完了する必要があります。

注: 現在の SPSS Modeler バージョンで使用できるように DB2 データベースをアップグレードすると、その後は以前のバージョンでは使用できなくなります。

- アップグレード対象の SPSS Entity Analytics リポジトリーを含む DB2 データベースをバックアップし、リポジトリーをアップグレードします。詳しくは、7 ページの『DB2 データベースのバックアップおよびリポジトリーのアップグレード』を参照してください。
- アップグレード対象のリポジトリーの g2_config.xml インスタンスを、以前の SPSS Modeler リリース・バージョンのファイルから現在の SPSS Modeler リリース・バージョンに移動します。例えば、SPSS Modeler 17.1 から SPSS Modeler 18.0 に移動します。詳しくは、8 ページの『アップグレード対象のリポジトリー用の g2_config.xml インスタンスの移動』を参照してください。
- アップグレード対象の各リポジトリーのフォルダーを、以前の SPSS Modeler リリースの場所から現在の SPSS Modeler リリースの場所に移動します。詳しくは、8 ページの『現行 SPSS Modeler バージョンへのリポジトリー用フォルダーの移動』を参照してください。
- トークンおよびセキュア・ストアを初期化し、salt 値を以前の SPSS Modeler リリースの g2.ini ファイルから抽出します。詳しくは、9 ページの『トークンおよびセキュア・ストアの初期化とソルト値の抽出』を参照してください。
- g2.ini ファイルを変更します。詳しくは、10 ページの『g2.ini ファイルの変更』を参照してください。

DB2 データベースのバックアップおよびリポジトリーのアップグレード

SPSS Entity Analytics リポジトリーを含む DB2 データベースをバックアップし、このリポジトリーをアップグレードするには、以下のステップを実行します。

1. 管理者としてログインし、IBM DB2 コマンド・ウィンドウを開きます。
2. 既存のデータベースをバックアップします。これを行うには、以下のコマンドを入力します。その際、{DB} にはデータベース名、{USER} にはユーザー名、{PASSWORD} にはパスワードを代入してください。また、{C:\%} はバックアップを配置する場所のパスで置き換えてください。
 - a. db2 CONNECT TO {DB} USER {USER} USING {PASSWORD}
 - b. db2 QUIESCE DATABASE IMMEDIATE FORCE CONNECTIONS

- c. db2 CONNECT RESET
 - d. db2 BACKUP DATABASE {DB} USER {USER} USING {PASSWORD} TO {C:¥} WITH 2 BUFFERS BUFFER 1024 PARALLELISM 1 COMPRESS WITHOUT PROMPTING
 - e. db2 CONNECT TO {DB} USER {USER} USING {PASSWORD}
 - f. db2 UNQUIESCE DATABASE
 - g. db2 CONNECT RESET
3. 以下の手順で SPSS Entity Analytics リポジトリを更新します。
 - a. db2 connect to {DB} user {USER} using {PASSWORD}
 - b. cd C:/Program Files/ibm/SPSS/Modeler/<current_version_number>/ext/bin/pasw.entityanalytics/templates
 - c. 以前のバージョンの SPSS Modeler から現在のバージョンに更新するためのコマンドを入力します。例: db2 -tvf Upgrade17to18.sql
 4. コマンド・ウィンドウを終了します。それには、exit と入力します。

アップグレード対象のリポジトリ用の g2_config.xml インスタンスの移動

g2_config.xml ファイルは、SPSS Entity Analytics コンポーネントが指定のリポジトリの SPSS Entity Analytics Web サービスを見つけるために使用します。g2_config.xml インスタンスを移動するには、以下のステップを実行します。

1. 以前の SPSS Modeler バージョンの g2_config.xml ファイルを編集します。例えば、SPSS Modeler バージョン 17.1 の場合、このファイルのデフォルトの場所は以下のとおりです。
 - **Windows** C:¥ProgramData¥IBM¥SPSS¥Modeler¥17.1¥EA¥g2_config.xml
 - **UNIX** <modeler17.1-install-directory>/ext/bin/pasw.entityanalytics/EA/g2_config.xml
2. アップグレード対象のリポジトリのインスタンスを見つけて削除します。例えば、AAA というリポジトリを SPSS Modeler バージョン 17.1 からアップグレードした場合は、以下を削除します。


```
<instance external="false" g2host="localhost" g2port="1321" host="9.30.214.79"
  name="AAA"
  path="C:¥ProgramData¥IBM¥SPSS¥Modeler¥17.1¥EA¥repositories¥AAA¥g2.ini"
  port="1320"/>
```
3. 現在の SPSS Modeler バージョンの g2_config.xml ファイルを編集します。例えば、SPSS Modeler バージョン 18.0 の場合、このファイルのデフォルトの場所は以下のとおりです。
 - **Windows** C:¥ProgramData¥IBM¥SPSS¥Modeler¥18.0¥EA¥g2_config.xml
 - **UNIX** <modeler17.1-install-directory>/ext/bin/pasw.entityanalytics/EA/g2_config.xml
4. ステップ 2 で削除したインスタンスを追加し、以前の SPSS Modeler バージョン番号から現在のバージョン番号に変更することでパスを更新します。

例えば、SPSS Modeler 17.1 から 18.0 にアップグレードする場合は以下のようにします。

```
<g2instances>
.
.
<instance external="false" g2host="localhost"
  g2port="1321" host="9.30.214.79" name="AAA"
  path="C:¥ProgramData¥IBM¥SPSS¥Modeler¥18.0¥EA¥repositories¥AAA¥g2.ini"
  port="1320"/></g2instances></config>
```

現行 SPSS Modeler バージョンへのリポジトリ用フォルダーの移動

リポジトリのフォルダーを、以前の SPSS Modeler バージョンの場所から現在の SPSS Modeler バージョンの場所に移動する必要があります。例えば、AAA というリポジトリをアップグレードする場合は、AAA という名前のフォルダーとその内容をすべて移動する必要があります。

例えば、SPSS Modeler バージョン 17.1 からバージョン 18.0 にリポジトリを移動する場合、リポジトリのデフォルトの場所は以下のとおりです。

- **Windows** 移動元: C:\ProgramData\IBM\SPSS\Modeler\17.1\EA\repositories、移動先: C:\ProgramData\IBM\SPSS\Modeler\18.0\EA\repositories
- **UNIX** 移動元: <modeler17.1-install-directory>/ext/bin/pasw.entityanalytics/EA/repositories、移動先: <modeler18.0-install-directory>/ext/bin/pasw.entityanalytics/EA/repositories

トークンおよびセキュア・ストアの初期化とソルト値の抽出

トークンおよびセキュア・ストアを初期化し、ソルト値を、現在の SPSS Modeler バージョンで使用するために以前の SPSS Modeler バージョンの場所の g2.ini ファイルから抽出する必要があります。

例えば、SPSS Modeler バージョン 17.1 からバージョン 18.0 にリポジトリを移動する場合は、以下のようになります。

Windows

ICC_PKCS11_ROOT 環境変数を変更して、ICC_PKCS11_ROOT=<セキュア・ストア・ファイルが格納されているフォルダーのパス> とし、以下のコマンドを実行します。

```
set path=<modeler18.0-install-directory>%bin%;<modeler18.0-install-directory>%ext%bin%pasw.entityanalytics%g2;
<modeler18.0-install-directory>
cd <modeler18.0-install-directory>%ext%bin%pasw.entityanalytics%g2
ssadm -c <modeler18.0-install-directory>%ext%bin%pasw.entityanalytics%templates%g2.ini
-tokinit -label g2securestore <modeler18.0-install-directory>%ext%bin%pasw.entityanalytics%templates
%Valid-SOPIN.txt
ssadm -c <modeler18.0-install-directory>%ext%bin%pasw.entityanalytics%templates%g2.ini
-ssinit <modeler18.0-install-directory>%ext%bin%pasw.entityanalytics%templates%SOPIN.txt
saltadm -c <modeler18.0-install-directory>%ext%bin%pasw.entityanalytics%templates%g2.ini
-legacy -ini the g2.ini file of 17.1 -name yoursaltName
<modeler18.0-install-directory>%ext%bin%pasw.entityanalytics%templates%SOPIN.txt
```

これらのコマンドにより、ソルト NAME および CHECKSUM が以下の形式で得られます。

```
[SALT]
NAME=g2salt_1327
CHECKSUM=EmPtyghpZdbSdjAq+Ss0dA==
ANONYMIZATION=SHA2
```

NAME および CHECKSUM は、トピック 10 ページの『g2.ini ファイルの変更』のステップを実行する際に必要になります。

UNIX

次のコマンドを実行します。

```
export ICC_PKCS11_ROOT=<the folder where you store the file of the secure store>
```

- **Linux** および **Linux for System z** の場合:

```
export LD_LIBRARY_PATH=<modeler18.0-install-directory>/bin:<modeler18.0-install-directory>;
<modeler18.0-install-directory>/ext/bin/pasw.entityanalytics/g2
```

- **AIX** の場合:

```
export LIBPATH=<modeler18.0-install-directory>/bin:<modeler18.0-install-directory>:
<modeler18.0-install-directory>/ext/bin/pasw.entityanalytics/g2
cd <modeler18.0-install-directory>/ext/bin/pasw.entityanalytics/g2
./ssadm -c <modeler18.0-install-directory>/ext/bin/pasw.entityanalytics/templates/g2.ini
-tokinit -label g2securestore <modeler18.0-install-directory>/ext/bin/pasw.entityanalytics/templates/
Valid-SOPIN.txt
./ssadm -c <modeler18.0-install-directory>/ext/bin/pasw.entityanalytics/templates/g2.ini
-ssinit <modeler18.0-install-directory>/ext/bin/pasw.entityanalytics/templates/SOPIN.txt
./saltadm -c <modeler18.0-install-directory>/ext/bin/pasw.entityanalytics/templates/g2.ini
-legacy -ini your g2.ini file of 17.1 -name yoursaltName
<modeler18.0-install-directory>/ext/bin/pasw.entityanalytics/templates/SOPIN.txt
```

これらのコマンドにより、ソルト NAME および CHECKSUM が以下の形式で得られます。

```
[SALT]
NAME=g2salt_1327
CHECKSUM=EmPtyghpZdbSdjAq+Ss0dA==
ANONYMIZATION=SHA2
```

NAME および CHECKSUM は、トピック 10 ページの『g2.ini ファイルの変更』のステップを実行する際に必要になります。

g2.ini ファイルの変更

最新の SPSS Modeler バージョンから g2.ini ファイルをコピーして、以前のファイルを置き換える必要があります。それを行うには、以下のステップを実行します。

1. 最新の SPSS Modeler バージョンの g2.ini をリポジトリ・フォルダーにコピーして、古い g2.ini ファイルを置き換えます。

g2.ini の場所の例: <modeler18.0-install-directory> /ext/bin/pasw.entityanalytics/EA/templates

例えば、AAA というリポジトリをアップグレードする場合、SPSS Modeler 18.0 用に編集するリポジトリ・フォルダー・ファイルのデフォルトの場所は、以下のようになります。

- **Windows:** C:\ProgramData\IBM\SPSS\Modeler\18.0\EA\repositories\AAA\g2.ini
 - **UNIX:** <modeler18.0-install-directory>/ext/bin/pasw.entityanalytics/EA/repositories/AAA/g2.ini
2. [PIPELINE] セクションの SUPPORTPATH 項目で、パスを以前のバージョンから最新バージョンに変更します (例えば 17.1 から 18.0 に)。
 3. [SALT] セクションで、NAME および CHECKSUM の各ソルト項目を、トピック 9 ページの『トークンおよびセキュア・ストアの初期化とソルト値の抽出』でステップを実行した際に作成したもので置き換えます。

SPSS Entity Analytics リポジトリの削除

オプションの DB2 10.5 を SPSS Entity Analytics リポジトリとしてインストールした後で、それをアンインストールする場合には、DB2 データベース製品のアンインストールの説明に従ってください。

SPSS Entity Analytics リポジトリのバックアップと復元

SPSS Entity Analytics リポジトリとしてオプションで DB2 10.5 をインストールした後に、リポジトリのバックアップを作成する場合は、DB2 - バックアップの概要の説明に従ってください。復元する必要のあるリポジトリのバックアップ コピーがある場合は、DB2 - リストアの概要の説明に従ってください。

SPSS Modeler Social Network Analysis クラスタ ノード

クラスター・ノードのインストール

IBM SPSS Modeler Social Network Analysis クラスタ・ノードを使用して、ソーシャル・ネットワークの処理を複数のシステムに分散し、マシン 1 台あたりの処理の負荷を軽減することができます。クラスター・ノードのインストールは、クラスター環境に関わるすべてのシステムで実行する必要があります。

の Windows システムへのインストール

クラスター・ノードはインストール先フォルダーにインストールできますが、クラスター・ノードはセットアップを実行するコンピューターにする必要があります。ネットワークの場所にはインストールできません。

Windows Server

注: 管理者として *sna_worker_installer.exe* を実行する必要があります。

クラスター・ノードを Windows Server にインストールするには、以下のステップを実行してください。

1. ダウンロードしたファイルをダブルクリックしてインストール・ファイルを解凍します。
2. Windows エクスプローラーで、インストール・ファイルが解凍された場所を参照します。
3. 「Windows」サブフォルダーの *sna_worker_installer.exe* を右クリックし、「管理者として実行」をクリックします。または、インストール・ファイルが解凍された場所に移動し、*sna_worker_installer.exe* をクリックします。
4. 「IBM SPSS Modeler Social Network Analysis (クラスター・ノード) のインストール」を選択します。
5. 画面に表示される指示に従います。

の UNIX システムへのインストール

クラスター・ノードをインストールするには、以下のステップを実行してください。

1. *root* としてログインします。
2. ダウンロードしたインストール・メディアは圧縮アーカイブです。アーカイブのファイルを解凍してください。
3. インストーラー・ファイルの解凍場所のディレクトリーに移動します。
4. *.bin* ファイル (例えば、*sna_worker_installer_aix64.bin* または *sna_worker_installer_linux64.bin*) を実行します。インストール・スクリプトが *root* によって実行できることを確認します。
5. 表示された手順に従います。

の Windows システムからの削除

IBM SPSS Modeler Server Social Network Analysis のクラスター・ノードをアンインストールするには、以下のステップを実行してください。

1. Windows の「スタート」メニューから次のように選択します。

「設定」 > 「コントロール パネル」

2. 「コントロール パネル」から「プログラムの追加と削除」を選択します。
3. 「プログラムの変更または削除」をクリックします。
4. 現在インストールされているプログラムのリストから IBM SPSS Modeler Social Network Analysis クラスタ・ノードを選択して、「変更/削除」をクリックします。コンピューターに複数のバージョンがインストールされている場合は、削除するバージョンを間違えないように選択します。

アンインストールが完了すると、メッセージが表示されます。

の UNIX システムからの削除

IBM SPSS Modeler Social Network Analysis のクラスタ・ノードをアンインストールするには、以下のプログラム・ファイルを削除してください。

- *\$installLoc/MPICH2*
- *\$installLoc/TABI*

\$installLoc の値は、IBM SPSS Modeler Social Network Analysis クラスタ・ノードのインストール・パスに対応します。

管理ツール

IBM SPSS Modeler Server Social Network Analysis のインストール後、環境を構成する必要があります。インストールには、必要な構成設定を指定する管理ツールが含まれます。

管理ツールの開始

IBM SPSS Modeler Server Social Network Analysis のインストールが完了した場合、自動的に管理ツールを実行できます。構成設定の更新時にいつでも手動でツールを実行することもできます。

管理ツールを手動で実行するには、インストール場所のサーバーの管理ツール・ファイルを実行します。IBM SPSS Modeler Server Social Network Analysis 管理ツールは *<installLoc>\¥TABI¥adminTool_server* にあります。*<installLoc>* は IBM SPSS Modeler Server Social Network Analysis のインストール場所で、通常は IBM SPSS Modeler Server のインストール場所です。

構成設定の指定

管理ツールは、IBM SPSS Modeler Server Social Network Analysis を管理する場合の構成設定の一連のプロンプトで構成されています。

- **MPD ホスト。** 各クラスタ・ノードの名前と IP アドレスを入力します。ホスト情報は、*\$HOME/mpd.hosts* に保存されます。
- **作業ディレクトリ。** 同じパスを使用して、すべてのクラスタ・ノードがアクセスできる公開ディレクトリを指定します。
- **一時ディレクトリ。** 中間処理ファイルおよび内部処理ファイルに使用する一時ディレクトリを定義します。
- **プロセスの数。** クラスタ内のホストの数を指定します。

注: 作業 ディレクトリ、一時 ディレクトリ、またはプロセスの数 を変更した場合は、次の手順を実行してください。

1. UNIX システムの場合、次のシェル・コマンドを実行します: *source \$HOME/SNA.profile*
2. IBM SPSS Modeler、または必要に応じて IBM SPSS Modeler Server を再起動します。

IBM SPSS Modeler Premium Server の削除

Windows システムからの削除

IBM SPSS Modeler Premium Server をアンインストールするには、次の手順を実行します。

1. Windows の「スタート」メニューから次のように選択します。

「設定」 > 「コントロール パネル」

2. 「コントロール パネル」から「プログラムの追加と削除」を選択します。

3. 「プログラムの変更または削除」をクリックします。

4. 現在インストールされているプログラムのリストから IBM SPSS Modeler Premium Server を選択し、「変更/削除」をクリックします。コンピューターに複数のバージョンがインストールされている場合は、削除するバージョンを間違えないように選択します。

アンインストールが完了すると、メッセージが表示されます。

UNIX システムからの削除

IBM SPSS Modeler Premium Server をアンインストールするには、プログラム・ファイルを削除し、自動スタートアップを構成していた場合は、無効にします。

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[ア行]

一時ディレクトリー 23
インストール
 クラスター・ノード 22

[カ行]

管理ツール 23
 開始 23
 設定 23
クラスター・ノード
 インストール 22
 管理ツール 23
 削除 22, 23

[サ行]

作業ディレクトリー 23
削除
 クラスター・ノード 22, 23

[ハ行]

プロセス
 数 23

I

IBM SPSS Modeler Premium の概要 1
IBM SPSS Modeler Server Social Network
 Analysis
 管理ツール 23

M

MPD ホスト 23

U

UNIX
 クラスター・ノードのインストール
 22

UNIX (続き)

 クラスター・ノードの削除 23

W

Windows

 クラスター・ノードのインストール
 22
 クラスター・ノードの削除 22



Printed in Japan